

一般県道割子切石線 中富橋



発注者 山梨県 県土整備部 中部横断自動車道推進事務所

形式 鋼3径間連続鋼床版箱桁橋

橋長 227.0m (支間長 : 49.1m+88.5m+87.0m)

有効幅員 7.0m(車道)+2.0m(歩道)

鋼材重量 1,143t

架設工法 クローラークレーンベント工法(河川内瀬替えあり)

完工 平成 29 年 6 月

特徴

- ・本橋は山梨県身延町に位置し、国道 52 号から富士川を渡河し、中部横断自動車道へアクセスする橋長 227m の鋼床版箱桁橋である。
- ・架橋場所の中央径間は富士川上であることから、先行して両側径間から 200t 吊クローラークレーンにて架設を行った。
- ・左岸側径間を河川敷から架設、右岸側径間は瀬替えし架設を行った。中央径間は再び瀬替えを行い、最終ブロックはセッティングビームを使用し落とし込み架設を行った。